



江戸之華會 第十一回 出版目録

大醫山圓福寺

令和五癸卯歳 三月廿一日

御挨拶

本年の江戸の華會は四年ぶりと成ります一般入場制限を取つての開催として、場も十回を重ねて開催させて頂きました谷中天眼禅寺より、この武蔵野の圓福寺御住職様の御理解を賜り彼岸會に合せて花供養の法會と共に一日のみの開催では有りますが、春のはなを楽しみ、御清遊の程、頂けましたら幸甚で有ります

合掌

武蔵野のあが狹庭にて椿もてたてはな活けし祖靈まつらむ

代表理事 鴻雲齋 華靖

鴻雲齋	渡邊華靖	松韻齋	渡邊華璋	薰香庵二世	市川碧水	松月庵二世	山内碧舟	會掌	大井靖瀨	會掌	飯尾瀨眞	準華鑑	渡邊鴻風	準華鑑	森原靜康
-----	------	-----	------	-------	------	-------	------	----	------	----	------	-----	------	-----	------

2023年(令和5年)3月20日(月曜日)

あす華道家ら作品展示

流派を超えた生け花などの作品で寺を彩る催し「江戸の華會」(東京新聞立川支局後援)が二十一日、清瀬市野塩三の円福寺で開かれる。NPO法人「いけばな文化振興普及協会 いけばなworks」(事務局・東久留米市)の主催。昨年まで台東区得天寺で開催していたが、十一回目の今年から多摩地域に会場を移す。

都内や神奈川県内の華道家ら八人が、伝統的な華道や現代的なフワ―アレンジメントの作品十点を寺の客殿に展示する。西東京市の大井靖瀨さん(56)は、フリースタイル「トビー」などで「春らんまん」を表現。「明るさや希望を感じてほし

い」と思いを込めた。入場無料。展示は午前十時～午後四時、午前九時～十時に花供養の法會、午前十一時～正午に日舞の奉納もある。問い合わせは円福寺(電話042(491)0753)へ。(服部展和)

東京新聞

多摩

武蔵野



円福寺の客殿で作品を生ける大井さん＝清瀬市で

會期 令和五年 三月廿一日(火・春分の日) 午前十時～午後四時

華供養法會

午前九時より

於 本堂

獻茶式 執行 茶道脩靜庵 吉田瀨文

獻華式 執行 創美流華道 市川碧水

日舞奉納 創舞流二代目 創舞吉之城

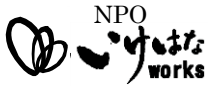
華席 茶席

午前十時～午後四時 於 客殿

主催 特定非営利活動法人いけばな文化振興普及協會 いけばなworks

事務局 東京都東久留米市前澤五ノ七ノ廿七創美流華道會館内

電話 〇四二(四七一)四〇二二(代)



後援 東京新聞立川支局

協賛



日舞創舞流 茶道脩靜庵



いけばなworks

創美流華道



※今回の華會 法要は 後日動画配信致しますので 是非共御覧頂き度存じます